

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 16 年 12 月 24 日 (2004.12.24)

【公開番号】特開 2001-334042 (P2001-334042A)

【公開日】平成 13 年 12 月 4 日 (2001.12.4)

【出願番号】特願 2000-159450 (P2000-159450)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 3 F 7/02

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 1 月 28 日 (2004.1.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

左、中、右表示領域に図柄列をスクロール表示可能な表示装置と、該表示装置の表示制御を行う表示制御装置と、を備え、

スクロール表示した左、中、右表示領域の図柄が特定の組み合わせ態様をライン上に表示する状態で停止することにより遊技が大当たりとなったことを示す遊技機において、前記表示制御装置は、

スクロール表示を継続する中表示領域を除き、左、右表示領域で同一図柄をライン上に整列させるリーチ状態の表示を行う場合に、前記右表示領域の図柄列パターンを切り換えて前記リーチ状態を形成するライン数を変化させるスクロール図柄切換手段を備え、

前記スクロール図柄切換手段は、

前記スクロール表示中に前記右表示領域の図柄列パターンを、該右表示領域に通常表示される基本となる図柄列を逆方向に並べた逆方向図柄列に切り換えるようにしたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

左、中、右表示領域に図柄列をスクロール表示可能な表示装置と、該表示装置の表示制御を行う表示制御装置と、を備え、

スクロール表示した左、中、右表示領域の図柄が特定の組み合わせ態様をライン上に表示する状態で停止することにより遊技が大当たりとなったことを示す遊技機において、

前記表示制御装置は、

スクロール表示を継続する中表示領域を除き、左、右表示領域で同一図柄をライン上に整列させるリーチ状態の表示を行う場合に、前記右表示領域の図柄列パターンを切り換えて前記リーチ状態を形成するライン数を変化させるスクロール図柄切換手段を備え、

前記スクロール図柄切換手段は、

前記スクロール表示中に前記右表示領域の図柄列パターンを、該右表示領域に通常表示される基本となる図柄列と、該基本となる図柄列を逆方向に並べた逆方向図柄列と、を組み合わせた組み合わせ図柄列に切り換えるようにしたことを特徴とする遊技機。

【請求項 3】

左、中、右表示領域に図柄列をスクロール表示可能な表示装置と、該表示装置の表示制御を行う表示制御装置と、を備え、

スクロール表示した左、中、右表示領域の図柄が特定の組み合わせ態様をライン上に表示する状態で停止することにより遊技が大当たりとなったことを示す遊技機において、前記表示制御装置は、

スクロール表示を継続する中表示領域を除き、左、右表示領域で同一図柄をライン上に整列させるリーチ状態の表示を行う場合に、前記中表示領域の図柄列パターンを切り換えて前記特定の組み合わせ態様を表示するラインを変化させるスクロール図柄切換手段を備え、

前記スクロール図柄切換手段は、

前記スクロール表示中に前記中表示領域の図柄列パターンを、該中表示領域に通常表示される基本となる図柄列と、該基本となる図柄列の両端の図柄を除外した内側部分の図柄列を逆方向に並べた逆方向内側部分図柄列と、を連続させて組み合わせた両端除外型組み合わせ図柄列に切り換えるようにしたことを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

【課題を解決するための手段】

第１の発明では、左、中、右表示領域に図柄列をスクロール表示可能な表示装置と、該表示装置の表示制御を行う表示制御装置と、を備え、スクロール表示した左、中、右表示領域の図柄が特定の組み合わせ態様をライン上に表示する状態で停止することにより遊技が大当たりとなったことを示す遊技機において、前記表示制御装置は、スクロール表示を継続する中表示領域を除き、左、右表示領域で同一図柄をライン上に整列させるリーチ状態の表示を行う場合に、前記右表示領域の図柄列パターンを切り換えて前記リーチ状態を形成するライン数を変化させるスクロール図柄切換手段を備え、前記スクロール図柄切換手段は、前記スクロール表示中に前記右表示領域の図柄列パターンを、該右表示領域に通常表示される基本となる図柄列を逆方向に並べた逆方向図柄列に切り換えるようにした。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

第２の発明では、左、中、右表示領域に図柄列をスクロール表示可能な表示装置と、該表示装置の表示制御を行う表示制御装置と、を備え、スクロール表示した左、中、右表示領域の図柄が特定の組み合わせ態様をライン上に表示する状態で停止することにより遊技が大当たりとなったことを示す遊技機において、前記表示制御装置は、スクロール表示を継続する中表示領域を除き、左、右表示領域で同一図柄をライン上に整列させるリーチ状態の表示を行う場合に、前記右表示領域の図柄列パターンを切り換えて前記リーチ状態を形成するライン数を変化させるスクロール図柄切換手段を備え、前記スクロール図柄切換手段は、前記スクロール表示中に前記右表示領域の図柄列パターンを、該右表示領域に通常表示される基本となる図柄列と、該基本となる図柄列を逆方向に並べた逆方向図柄列と、を組み合わせた組み合わせ図柄列に切り換えるようにした。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

第 3 の発明では、左、中、右表示領域に図柄列をスクロール表示可能な表示装置と、該表示装置の表示制御を行う表示制御装置と、を備え、スクロール表示した左、中、右表示領域の図柄が特定の組み合わせ態様をライン上に表示する状態で停止することにより遊技が大当たりとなったことを示す遊技機において、前記表示制御装置は、スクロール表示を継続する中表示領域を除き、左、右表示領域で同一図柄をライン上に整列させるリーチ状態の表示を行う場合に、前記中表示領域の図柄列パターンを切り換えて前記特定の組み合わせ態様を表示するラインを変化させるスクロール図柄切換手段を備え、前記スクロール図柄切換手段は、前記スクロール表示中に前記中表示領域の図柄列パターンを、該中表示領域に通常表示される基本となる図柄列と、該基本となる図柄列の両端の図柄を除外した内側部分の図柄列を逆方向に並べた逆方向内側部分図柄列と、を連続させて組み合わせた両端除外型組み合わせ図柄列に切り換えるようにした。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

【発明の作用および効果】

第 1 の発明では、表示装置においてリーチ状態の表示を行う場合に、右表示領域に通常表示される基本となる図柄列を、該基本となる図柄列を逆方向に並べた逆方向図柄列に切り換えることができるので、リーチ状態を形成するライン数を変化させることができると共に、図柄表示のパターンを変化に富んだものにすることができ、遊技の興趣を高めることができる。

また、リーチ状態の表示を行う場合のスクロール表示中に、図柄列の切り換えをすることにより、リーチ表示として様々なパターンを採ることが可能となると共に、遊技者に違和感を与えずに図柄列の切り換えをすることができる。

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 6】

第 2 の発明では、表示装置においてリーチ状態の表示を行う場合に、右表示領域に通常表示される基本となる図柄列を、該基本となる図柄列と、基本となる図柄列を逆方向に並べた逆方向図柄列と、を組み合わせた組み合わせ図柄列に切り換えることができるので、リーチ状態を形成するライン数を変化させることができると共に、図柄表示のパターンを変化に富んだものにすることができ、遊技の興趣を高めることができる。

また、リーチ状態の表示を行う場合のスクロール表示中に、図柄列の切り換えをすることにより、リーチ表示として様々なパターンを採ることが可能となると共に、遊技者に違和感を与えずに図柄列の切り換えをすることができる。

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

第 3 の発明では、表示装置においてリーチ状態の表示を行う場合に、中表示領域に通常表示される基本となる図柄列を、該基本となる図柄列と、基本となる図柄列の両端の図柄を除外した内側部分の図柄列を逆方向に並べた逆方向内側部分図柄列と、を連続させて組み合わせた両端除外型組み合わせ図柄列に切り換えることができるので、特定の組み合わせ態様を表示するラインを変化させることができると共に、図柄表示のパターンを変化に富んだものにすることができ、遊技の興趣を高めることができる。

また、この場合、基本となる図柄列には、逆方向内側部分図柄列が組み合わせられるので、2 つの図柄列の連結部分で図柄が重複してしまうことがない。

また、リーチ状態の表示を行う場合のスクロール表示中に、図柄列の切り換えをすることにより、リーチ表示として様々なパターンを採ることが可能となると共に、遊技者に違和感を与えずに図柄列の切り換えをすることができる。

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0018  
【補正方法】削除  
【補正の内容】

【手続補正16】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0019  
【補正方法】削除  
【補正の内容】

【手続補正17】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0020  
【補正方法】削除  
【補正の内容】

【手続補正18】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0021  
【補正方法】削除  
【補正の内容】

【手続補正19】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0022  
【補正方法】削除  
【補正の内容】